

2024

3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2025	1	2
月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
4 5 6 7 8 9 10	1 2 3 4 5 6 7	8 9 10 11 12 13 14	1 2 3 4 5	6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7	8 9 10 11 12 13 14	1 2 3 4 5 6 7	8 9 10 11 12 13	1 2 3	4 5 6 7 8 9 10	1 2 3	4 5 6 7 8 9
11 12 13 14 15 16 17	15 16 17 18 19 20 21	13 14 15 16 17 18 19	10 11 12 13 14 15 16	15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	19 20 21 22 23 24 25	14 15 16 17 18 19 20	11 12 13 14 15 16 17	2 3 4 5 6 7 8	6 7 8 9 10 11 12	13 14 15 16 17 18 19	10 11 12 13 14 15 16
18 19 20 21 22 23 24	22 23 24 25 26 27 28	20 21 22 23 24 25 26	17 18 19 20 21 22 23	22 23 24 25 26 27 28	16 17 18 19 20 21 22	23 24 25 26 27 28 29	21 22 23 24 25 26 27	18 19 20 21 22 23 24	9 10 11 12 13 14 15	20 21 22 23 24 25 26	17 18 19 20 21 22 23	17 18 19 20 21 22 23
25 26 27 28 29 30 31	29 30	27 28 29 30 31	24 25 26 27 28 29 30	29 30 31	26 27 28 29 30 31	30	28 29 30 31	25 26 27 28 29 30	30 31	27 28 29 30 31	24 25 26 27 28	24 25 26 27 28

3月12日(火)~5月19日(日)

第11回 郷さくら美術館
桜花賞展

The 11th Oka-Sho Award Exhibition



第10回大賞 工藤 彰《桜の間》2022年

気鋭の現代日本画家たちが、日本美術でおなじみの「桜」という大変難しいモチーフをそれぞれの持ち味を活かし素晴らしい桜の絵画に仕上げたコンペティション形式の展覧会です。作家たちの個性豊かな桜花の美しさを、どうぞお楽しみください。



第10回 優秀賞 三谷佳典《瞬刻》2022年



第10回 奨励賞 鷹濱春奈《花の間の空》2022年

5月25日(土)~6月23日(日)

第4回 FROM

それぞれの日本画
The 4th FROM Exhibition



日本美術界で活動してきた作家たちが、研究・挑戦・発表を目的としたグループ「FROM」を結成。「FROM」には、「生まれや学歴はもちろんのこと活動経緯や所属が様々でありながらも同じ意識を持つ作家集団であること」という意味が込められています。所属作家は、押元一敏、川崎麻央、木下めいこ、武田裕子、田島周吾、長澤耕平、野地美樹子、山浦めぐみ(五十音順)の8名。彼らは、日本美術界で連続と続く伝統を継承しながらも枠にとらわれずに独自の表現を追求し続けています。現代日本画の存在を示した本展をどうぞお楽しみください。

7月2日(火)~9月8日(日)

涼一夏を楽しむー

現代日本画
Ryo Exhibition



藤井 聡子 《ゆきあひ》2022年



青山巨幹 《夏日々》1991年

毎年猛暑が続きますが、涼しい美術館で日本画を鑑賞しながら「涼」を感じてみませんか。日本画には季節を感じる題材が数多く描かれています。夏の風物詩である朝顔・浴衣・祭りや、視覚から涼を感じられる氷・水辺・高原などの情景。五感を刺激する作品から、涼やかさ、爽やかさを体感していただけます。本展では、当館コレクションの中から暑い夏を楽しみつつ「涼」を感じられる作品に着目しました。現代日本画家が描く様々な「涼」の情景・空気感をどうぞご堪能ください。



中島千波 《峻嶺 マッターホルン》2014年

9月17日(火)~11月24日(日)

The GARDENー四季折々の庭園ー

現代日本画
The Garden Exhibition



田島周吾《黒斑犬腹掻キ・黒猫耳搔キ図》2017年(部分)

日本には、将軍や大名の指示のもと、造園家や作庭家が造った庭園が全国各地に存在します。代々大切に継承されてきた庭園は現在でも四季折々の美しさを楽しむことができます。本展では、当館コレクションの中から「庭」をモチーフにした作品を展覧し、現代日本画家が作品を通して表現した庭園の美をご紹介します。また、各地の名園を描いた作品を展示することで、館内で郷さくら独自の庭園を造園いたします。本展にて様々な庭を巡っていただき、美しい日本の文化と日本画表現をどうぞお楽しみください。



平松礼二 《ジャポニスム・モネの池図》2003年(部分)

2025

12月7日(土)~2025年2月24日(月)

郷さくら美術館 特別展
那波多目功一の世界

The world of Koichi Nabatame Exhibition



那波多目功一《昇陽菊図》1999年

1933年茨城県生まれの現代日本画家・那波多目功一。17歳で再興院展に初出品で初入選し、翌年には日展にも初出品で初入選するなど、早くから日本画壇に評価されました。制作において、初期は西洋画に影響を受けて作品を制作し、後年は「引き算の美学」を意識して、国内外の風景や四季の花を制作しており、花の名手として知られています。本展は、那波多目功一自選の作品を展示する回顧展となります。学生時代の作品から現在までの画業70年を越える中で醸成された繊細で優美な作品をご堪能ください。



那波多目功一《春に憩う》2014年

桜のコレクション「桜百景」展

100 Views of Sakura 'Scenes of Cherry Blossoms' Exhibition

満開の桜のお花見ができます

桜の作品を展示する「桜百景」は、桜の名所である目黒川のほとりに位置する当館へお越し頂いた皆様に、一年を通じて「お花見」を楽しんで頂くための展示室となっております。全国の桜の名所・名木を描いた作品を、企画展のテーマに合わせてご紹介いたします。
*上記の内容が変更となる場合がございますが、ご了承ください。



村田林藏 《醍醐寺の桜》2014年



中島千波 《目黒川桜花爛漫 中の橋の図》2018年



那波多目功一 《古都の春》2017年